

建設現場に於ける湿気問題

- ・高湿度空気の侵入は、多くの建築材料に対して、カビの成長を促進させてしまう
- ・コンクリートスラブをゆっくり乾燥させると、床材貼付け作業を行うことができず、結果工期の遅延をもたらしてしまう
- ・水分を多く含んだ状態での耐火処理作業は、乾燥に時間が掛かり、高湿度によるカビ汚染を引き起こしてしまう
- ・高湿度雰囲気での壁板工事は、乾式壁の傷みや接合部の乾燥遅れ、接合不良修理を引き起こす原因となり、工事に遅れを生じさせる
- ・大量の水分がコンクリート壁中に閉じ込められていると、湿気が塗料や壁紙に水泡の状態で出現する
- ・硬材の床板や木工製品は、空気や湿ったスラブから湿気を吸収し、歪みや曲がりが生じる
- ・コンクリートスラブが乾燥していない状態でタイルやカーペットを取付けるための接着剤を塗布すると、傷みを生じる場合がある

解決方法

気候(気温)にかかわらず、適切な調湿乾燥を行うことが可能なデシカント除湿機を使用する「ドライ・レンタルサービス」を提案します。

- デシカント除湿機にて調湿乾燥空気を作業現場へ送風
- 調湿乾燥空気は、建物内空気の蒸気圧と露点温度を下げ、建築材料内の湿気を高圧から低圧に変化させ、湿気の放出を促す
- 上記の対策により、カビの発生を抑えることができる。
また、建設計画は予定通り進行可能となり、工程管理もしやすくなる。